

「星空案内の実際」実技試験申込書

20 年 月 日

受験者氏名	連絡先電話番号	
	メールアドレス	
受講番号	(受験者本人に直接連絡を取れるようにして下さい。 試験官から連絡が入ることもあります)	
実施希望日時	20 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
試験官について	<input type="checkbox"/> 依頼済み →	試験官氏名
	<input type="checkbox"/> 未依頼	受諾日
実施場所	(〒 -)	
観望会名称 (名称があれば)	観望会主催者 (団体)	
観望会主催者が受験者と異なる場合	観望会責任者氏名	
	試験実施許可を得た日	20 年 月 日
はりま宇宙講座の web で「星空案内の実際」実技試験の流れを きちんと読んで、手続き(手順)を理解しましたか	<input type="checkbox"/> はい ・ <input type="checkbox"/> いいえ	
備考/連絡事項		

申込書は事務局宛に、メール添付、郵送又はFAXでお送り下さい 事務局が受け取った旨の連絡をいたしませんので、返事がない場合は、必ず問い合わせ下さい。 郵送以外の場合原本はレポートと同時にお願いします。

注意1 受験資格を確認して下さい

必修(すべての条件を満たす) (↓ 該当しているものに を入れて下さい)

- さあ、はじめよう 単位認定レポートを提出して、基準点以上で合格していること
- 望遠鏡のしくみ 単位認定レポートを提出して、基準点以上で合格していること
- 星空案内の実際 講義と実技を受講していること

選択(下記の内3講座以上の条件を満たす) **2期~5期のプラネコースの方はその旨記入ください**

- 宇宙はどんな世界 単位認定レポートを提出して、基準点以上で合格していること
- 星の文化に親しむ 単位認定レポートを提出して、基準点以上で合格していること
- 星座を見つけよう 実技試験で合格していること
- 望遠鏡を使ってみよう 実技試験で合格していること

注意2 《試験官が未定の場合》(ある程度時間の余裕[2ヶ月程度]をみて申込み下さい)

試験官を事務局が募集します (有り)→ 試験の実施を許可します (無し)→ 試験の実施不可能を連絡します

注意3 レポート(及びチェックシート:C-5a,C-5b 両方)は実技試験14日前までに事務局に届くようにお送り下さい
日祝日は郵便の配達がありませんので、時間に余裕を持ってお送りください

注意4 試験官には受験者の連絡先を伝えます

注意5 確認の為観望会責任者に事務局より直接連絡をとる場合があります その旨ご承知ください

事務局使用欄	レポート	合・否	実技	合・否	合・否
--------	------	-----	----	-----	-----

講義科目名	星空案内の実際 (実技試験 II 「観望会企画作成」)		
種別	必修科目	コード	Check-C-5b
氏名	(準案内人認定 No.(受講番号))		
判定	合・否 ※どちらかに○	試験実施者氏名	
コメント			
単位認定基準	講座受講の上、6以上チェックが入れば合格とします。 当該科目の単位認定は講義の出席および check-C-5a と check-C-5b の両方の合格を要します。		

太枠内を記入の上、提出ください

チェック項目の集計 ※試験実施者はチェックの結果を以下に集計してください。

1	2	3	4	5	6	7	8
現実的な内容	観望天体	適切機材	企画内容	安全面配慮	雨・曇天時	コスト考慮	魅力的内容

【レポート課題】 以下の内容で観望会の企画書を作成してください

あなたは、天体観望会を開くことになりました。自分で状況を設定して、観望会の企画を自由に立ててみてください。
なお、望遠鏡は以下のリストのものが借りられると仮定して、その中から適切な物を必要だけ選んでください。

使用できる機材:

- ・ 10.5cm 屈折赤道儀 (F9.5)、双眼鏡 7×42、双眼鏡用三脚、その他個人で所有する望遠鏡など

【企画書】

日 時 : 20 年 月 日 時 ~ 時

場 所 :

参加予想人数 : 参加者の概要 :

どのような設定で行われる観望会なのか、教えて下さい (実現可能な範囲で設定して下さい)。

この観望会を実施するにあたっての、あなたの目標を書いて下さい。

観望予定天体と、その選定の理由を書いて下さい。

観望会で使う機材と、その選定の理由を書いて下さい。

天体観望会企画内容と当日の流れ

Blank area for planning content and daily flow.

提出日：20 年 月 日
名 前：

【チェックポイント】

- 1 企画の設定は現実的な内容であるか
- 2 観測条件、対象者に適した観望天体が選定できているか
- 3 観望天体に対して適切な機材を選ぶことができているか
- 4 目標に対して企画の内容は適切であるか
- 5 安全面の配慮は十分に行われているか
- 6 雨天・曇天時の対応は考慮されているか
- 7 運営にかかる費用等のコストは考慮されているか
- 8 総合的に見て、魅力的な内容となっているか

6個以上チェックがあれば合格とします。

星空案内人資格認定制度 単位認定チェックシート(2016.11.12) _2 ★

講義科目名	星空案内の実際 (実技試験 I 「観望会」)									
種 別	必修科目					コード		check-C-5a		
試験実施日	20 年 月 日					担当講師				
観望会 実施会場						使用機材				
参加人数						天候				
受講生氏名						準案内人 認定 No. (受講番号)				
判 定	合・否 ※どちらかに○					試験実施者 氏名				
						採点日		20 年 月 日		
観望会の 目的・目標 (事前に記入し て試験に臨ん でください。)										
講師コメント										
単位認定基準	全ての項目について、「1」が1つもないとき合格 当該科目の認定は講義の出席と check-C-5a と check-C-5b の両方の合格を要します。									

太枠内を記入の上、ご提出ください

《集計欄》

1 デ ザイン	2 観望会を安全、円滑に実施できるか					3 場所時間で 適切に実施		4 参加者に対する 星空案内が適切か		
(1) 全体像	(1) 準備	(2) 機材	(3) 安全	(4) 進行	(5) 終了	(1) 準備	(2) 適切対応	(1) 情報	(2) 声量	(3) 対話
/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3

このチェックシートは観望会において単位認定を受けようとする者が、採点者の前で星空案内をするときに使用します。参加者からアンケートをとれない状況での使用を想定しています。もし、アンケートがとれるときは、check-C1,C2,C4 をお使いください。

■認定チェック項目

1 観望会を意識的にデザインしているか。		
(1)	観望会の目的を適切に設定し、全体像を描けているか。 例えば、①主催しているあるいは参加している観望会の目的を理解しているか、②その観望会で達成すべき目的・目標に沿って実施できたか。	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
2 観望会を安全、円滑に実施できるか。		
(1)	観望会を安全に実施するための準備を行っているか。 例えば、①会場の特性(危険な箇所、視界、明るさ、周辺環境等)を把握しているか、②スタッフの人数は適切か、また役割を把握し、適切に割り当てられているか、③緊急時の避難経路や責任者、連絡先を把握しているか、④保険加入等は検討しているか(していない場合も、緊急対応について考えてあるか)など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(2)	機材の選定や設置は安全、適切に行われているか。 例えば、①機材の台数や種類は適切か、②動線や安全を想定した配置ができているか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(3)	観望会の中で、お客様への安全に気を配っているか。 例えば、①危険な箇所にお客様が行かないように誘導・呼びかけができているか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(4)	円滑に進行するための工夫がなされているか。 例えば、①スタッフへの指示(配置や役割の変更、補助等)が適切に行われているか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(5)	観望会終了時の確認は適切にできているか。 例えば、①忘れ物等の確認が行われているか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
3 場所や時間にあわせて、観望会を適切に実施できるか。		
(1)	その日の観望会の実施内容に合わせて事前準備ができているか。 例えば①どんな天体や星座、現象が見えるのかを把握しているか、②会場の特性や想定参加者に応じて天体を選定できているか、③見えるものに対して、どのような機材を使えばいいのかを理解しているか、④見えるものに対してどういった内容を解説するのか想定しているか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(2)	天候などその場の状況にあわせて、適切な対応をしているか。 例えば、①観望天体のリクエストが出た場合、②天候が悪くなった場合、③混雑している場合、④お客様の年齢層が偏っている場合、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
4 参加者に対する星空案内が適切に行われているか。		
(1)	正しい情報を伝えているか。 誤った情報を二つ以上含んだ時は1とする。知らないことは「知らない、わからない」で構わない。なお、試験実施者はその場で正しい情報を参加者に伝えるようにしてください。	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(2)	声の大きさや話し方は適切か。 例えば、①声の大きさは適切か、②話し方の速度は適切か、③言葉使いは適切か、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3
(3)	参加者とのコミュニケーションを図っているか。 例えば、①押し付けになっていないか、②知識のひけらかしになっていないか、など	もうすこし 1 よい 2 たいへんよい 3